令和3年度第1回木更津市青少年問題協議会 議事録

1 日時 令和3年6月30日（水）午後1時30分～午後3時

2 会場 木更津市立中央公民館 多目的ホール

3 出席者 渡辺芳邦会長

委員：石井徳亮委員、豊田雅之委員、森廣賢一委員、長島則彦委員、池谷道雄委員、
及川勝正委員、中尾了委員、草苺洋子委員、石渡雅浩委員、駒形哲也委員、
尾崎進委員、齋藤富士男委員、齋藤和利委員、尾坂勇委員、鈴木清委員、
石邑八重子委員（20名中16名出席）

木更津市教育委員会：廣部教育長、秋元教育部長、今井学校教育課長、
内海まなび支援センター所長

事務局（生涯学習課）：鈴木課長、丸山係長、小野主事

4 議事

(1) 令和3年度青少年に係る事業等の実施状況について

- ① 生涯学習課
- ② まなび支援センター
- ③ 健康こども部子育て支援課
- ④ 健康こども部こども保育課

(2) 各団体・機関より

- ① 各団体・機関の青少年に係る取組や課題について
- ② 意見交換

(3) その他

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者数 なし

7 資料

- (1) 令和3年度第1回木更津市青少年問題協議会会議次第
- (2) 木更津市青少年問題協議会委員名簿
- (3) 資料1 木更津市青少年問題協議会設置条例
- (4) 資料2 木更津市青少年問題協議会開催状況
- (5) 資料3 令和3年度青少年事業計画（生涯学習課）
- (6) 資料4 令和3年度木更津市まなび支援センター運営方針及び
活動の重点（まなび支援センター）
- (7) 資料5 令和3年度子育て支援課事業実施計画
令和2年度子育て支援課事業実績（子育て支援課）
- (8) 資料6 木更津市の放課後児童クラブ（こども保育課）

8 会議の概要

【委嘱状交付式】

(事務局 鈴木課長)

本来ですと、会議に先立ちまして、委嘱状の交付式を開催することとしておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大に配慮させていただきまして、5名の新委員の方たちに対しましては、事前に委嘱状を、お手元に配らせていただきました。なお、任期につきましては木更津市青少年問題協議会設置条例第4条第2項の規定により、前任者の残任期間となります。

ここで新たに委員になられました方のご紹介をさせていただきます。お名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、その場でお立ちいただき、お顔を見せていただければと思います。

(生涯学習課鈴木課長より、森廣委員、長島委員、草苺委員、石渡委員の名前を読み上げ)

なお、本日欠席でいらっしゃいます平野委員へは、事務局より委嘱状をお渡しさせていただきます。以上でございます。

【協議会】

(事務局 丸山係長)

ありがとうございました。

それでは引き続き、令和3年度第1回木更津市青少年問題協議会を開催させていただきます。初めに本協議会の会長であります、渡辺市長よりご挨拶申し上げます。

(渡辺会長)

皆さんこんにちは。本日はご多用の中、令和3年度の第1回目となります協議会にご出席をいただきましてありがとうございます。また、日頃から青少年の健全育成に対し、深いご理解とご協力を賜りますこと、その他市政各般にわたってご協力いただいておりますことを重ねて感謝申し上げます。ただいま4名の方に新たに委嘱状を交付させていただきました。新型コロナウイルス感染拡大というこの状況の中で、直接お渡しすることができませんが、ぜひご理解をいただければと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

さて、昨年度は、日常生活や働き方などが一変して、各団体の皆様の活動も制限を余儀なくされるなどの大変なご苦労があったこととお察しいたします。まだまだコロナの終息が見えない状況ではございますが、このような状況下だからこそ、地域と家庭、学校、行政がより一層連携を強化して、青少年の成長を支える地域づくりを推進して参りたいと考えているところでございます。引き続きのご指導をいただければと思っております。

本日は、本年度第1回目の会議といたしまして、青少年にかかる取り組みや課題などを議事とさせていただきます。今後の施策や事業に反映させて参りたいと考えておりますので、皆様におかれましては、日頃感じていること、また、今子供たちが直面している問題について、ぜひ、忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げ、冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(事務局 丸山係長)

ありがとうございました。

ここでご報告させていただきます。本日の出席委員は16名です。木更津市青少年問題協議会設置条例第6条第2項の規定による、半数以上の出席がございましたので、会議は成立しております。また、平野委員、鈴木誠委員、工藤委員、原田委員様におかれましては本日ご都合により欠席されております。

なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されておりますが本日の傍聴人はありません。以上ご報告させていただきます。

(事務局 丸山係長)

続きまして、本日は第1回目の会議でございますので、まず青少年問題協議会の概要について、事務局から説明させていただきます。

お手元の資料1をご覧ください。青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法の規定に基づき、木更津市青少年問題協議会設置条例により設置されている協議会です。所掌事項は、「青少年の指導育成、保護及びきょう正に関する総合的施策の樹立につき必要な事項を調査審議する」及び「施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関相互の連絡調整を図る」こととなっており、本市の青少年健全育成に関する施策の実施状況や、問題点などについて情報を共有した上で、今後の方向性等についてご協議いただいております。組織につきましても、「会長は市長をもって充てる」こととなっており、関係機関・団体等からそれぞれご推薦いただいた委員の皆様を、市長が任命する形となっております。

続きまして、資料2をご覧ください。協議会の直近3年の開催状況でございます。昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、12月に、1回のみで開催となりましたが、各委員より、各団体の活動状況や課題についてご報告をしていただきました。以上事務局からの説明でございます。よろしくお願いいたします。

続きまして本来であれば委員の皆様から自己紹介をお願いしたいところですが、時間の都合上、お手元の資料の名簿により、割愛させていただきますと存じます。それでは会議に入らせていただきます。議長につきましては、会長であります渡辺市長をお願いいたします。渡辺会長よろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

それでは議長を務めさせていただきます。しばらくの間、よろしくお願いいたします。早速議事に入ります。初めに、議事(1)令和3年度青少年に係る事業計画について、各担当課から説明をさせていただきます。まず生涯学習課からお願いいたします。

(生涯学習課 鈴木課長 資料3により説明)

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、まなび支援センターから説明をお願いいたします。

(まなび支援センター 内海所長 資料4により説明)

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、健康子ども部子育て支援課をお願いいたします。

(子育て支援課 草苺課長 資料5により説明)

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、健康子ども部子ども保育課をお願いいたします。

(子ども保育課 石渡課長 資料6により説明)

(渡辺会長)

ありがとうございました。

ただいま、各担当課から、今年度の事業計画等について説明をさせていただきました。ご質問、ご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。

(豊田委員)

子ども保育課がご説明いただいたことについて、現在の保育園の待機児童と放課後児童クラブの待機児童数がわかれば、教えていただきたいと思っております。

(石渡委員)

待機児童についてのご質問でございますが、まず保育園につきましては、令和3年4月1日時点では、90名の待機児童がおります。その後、月ごとに入園の受け付けを行っている中で、少しずつ待機児童が増えているというような状況でございます。

学童クラブにつきましては、学童クラブから聞いている範囲の中では、待機児童はいない

と認識しております。

(豊田委員)

ありがとうございました。待機児童がない中で、新規開設の学童クラブが増えているということで、今後の、各クラブの採算は大丈夫なのかという部分も、ちょっと心配ではあるところなのですが、いかがでしょうか。

(石渡委員)

はい。確かに待機児童がないという中ではございますが、資料にもあります通り、利用者数は年々増加傾向にございますことから、新規開設クラブにおいても、基準に則り運用していくということで、民営という形にさせていただいておりますので、それぞれのクラブで工夫していただき運営を行っていただきたいと考えております。市の方でも、監査等の実施の予定もございますので、そちらでご意見を伺いながら、適正な運営に努めていきたいと考えております。

(渡辺会長)

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

また後程、お気づきの点がございましたら、お申し出いただければと思います。

それでは次の協議事項に移らせていただきます。本日は、今年度第1回目の会議ということでございますので、出席されている皆様方から、それぞれの団体や機関の概要等についてご紹介いただくとともに、取り組んでいただいている青少年健全育成に関する取り組み、また、課題等についてお話をいただき、その後に意見交換を行って参りたいと思います。会議時間に限りがございますので、2、3分でのご報告をお願いしたいと思います。それでは、お手元の委員名簿の順番で進めて参りたいと思います。最初に木更津市議会、石井委員お願いいたします。

(石井委員)

教育民生常任委員会委員長の石井と申します。よろしく申し上げます。木更津市議会としては、団体としての単独の取り組みというものは特にございませんが、教育民生常任委員会の方では、本会議から付託されました内容等を協議したり、現時点では行っておりませんが先進事例を視察して、当市の方にフィードバックできるような形で活動しております。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、教育委員会、豊田委員お願いいたします。

(豊田委員)

木更津市教育委員会委員の豊田でございます。教育委員会では、廣部教育長をトップに教育部各課の皆様方が、小中学校のため、子供たちのために、日夜努力をいただいているところでございます。コロナの中ではありますが、できない理由ではなくて、できる方法を考えて推進をいただいているところでございます。

一つ申しますと昨年、一斉休校がありまして、市長にもご心配いただいたのですが、GIGAスクール構想というのがありまして、小中学生の子供たち1人ずつへタブレット端末をお渡しして、オンライン授業が行うための準備を前倒しで進めていただき、現在その実証実験をいただいているところでございます。ですので、これが進んでいけば使い方によっては、例えば長期療養中の子供であったり、不登校の子供などにも対応ができるのではないかと個人的に思っております。以上でございます。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、社会教育委員、森廣委員お願いいたします。

(森廣委員)

社会教育委員より本日は参加させていただきました。初の参加となります。昨年はコロナの中で、書面の総会で始まりまして、研修にしろ、活動にしろ、全てが中止になってしまったというところであります。一昨年は複合施設を推進していく中で、埼玉県の方に視察に行ったりさせていただいて、令和3年度についても今後の課題として、集まって話し合いを続けていく形になると思います。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、中郷小学校、長島委員お願いいたします。

(長島委員)

木更津市小中学校校長会から選出いただきました中郷小学校の長島でございます。市内の小中学校では、現在まん延防止等重点措置対象区域に指定されているため、感染リスクの高い活動、例えば音楽や家庭科などの活動については、より慎重な判断のもと、教育活動を工夫して行っております。本年度の学校行事につきましては、昨年度の経験をもとに、感染予防を徹底しながら実施しています。つまり一概に中止ではなく、どうしたらできるかを考えながら、工夫しながら行っているところです。また、このウィズコロナの事態を踏まえて、これまで行われてきた行事等につきましても、その必要性等を再度吟味して、運動会や体育祭等への取り組み等、思い切った見直しを行っております。今後の感染状況によっては、先ほど豊田委員からもありましたけれども、急遽、休校や学年閉鎖等が考えられることから、これまでの登校による対面指導とあわせて、家庭におけるオンライン学習を組み合わせる実施できるように、全児童生徒に配布されたタブレットの利用を含めた準備を着々と進めております。以上でございます。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、木更津東高等学校、池谷委員お願いいたします。

(池谷委員)

木更津東高等学校の池谷と申します。よろしくお願いいたします。昨年度からの新たな試みなのかかわかりませんが本校には全日制と定時制がございますので、全日制の生徒に関しては朝の健康チェック、定時制の生徒に関しては76名しかおりませんので、全生徒の検温を行っております。登校時は全職員で迎え、その場で健康チェックを行い、37.5℃以上の生徒はそこで帰宅させております。

また、昨年度は行事がほとんどできませんでした。全日制に関しては、体育祭、芸術鑑賞のみの実施で、定時制に関しては何もできませんでした。そのような経過もありますので今年度は、感染症対策をしながら、すべての行事を実施しようと全職員で決めています。今のところ、6月に全日制は文化祭、定時制は校外学習を実施いたしました。この後、2学期に入りましたら、全日制は修学旅行と体育祭、3学期には芸術鑑賞会を行うこととなります。修学旅行については、当初3泊4日で沖縄へ行く予定だったのですが、感染症対策を考えまして、1クラスごとにバスを2台用意し、日程についても2泊3日に変更しました。行先は沖縄のままとしています。難しい場合は、場所や期日の変更も検討しています。定時制の修学旅行については復活させます。私は以前、教頭としても在籍していましたが、6年前に修学旅行はなくなってしまいました。今年度はそれを復活させようと思っています。定時制に関しては、あわせて競技大会等も復活させようと思っています。以上でございます。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、民生委員児童委員協議会、及川委員お願いいたします。

(及川委員)

民生委員児童委員協議会の及川でございます。木更津市の民生委員児童委員協議会は15の地区に分けてございます。15の地区で今、民生委員児童委員の数は224人と、定員を若干下回っている状態です。その内、主任児童委員と申しまして、児童を対象の中心として活動する

方が30名ほどおります。それ以外の民生委員は、各地区に分かれてそれぞれの担当エリアを持っており、1人が平均300所帯から350所帯ほどを担当しています。その中で、特にお年寄や体の不自由な方、小さいお子さんのいる家庭を個別に訪問して、その家の状況を伺って、何か困ったこと、或いはこういう希望があるという話があった場合に、市の福祉関係の担当部署、木更津市社会福祉協議会、地域包括センターの担当の方々にご相談内容を持ち込んでいます。住民の活動、生活を少しでも良くできるようにという気持ちで活動しております。コロナの情勢でございますので、学校へ訪問するのが難しく、玄関先や庭先での話を中心になっており、あまり大きい声で「民生委員でございます、何か困っていることございませんか」と言うと、周りへ聞こえてしまうということで、非常に活動がしづらい状況です。マスクを取って普通に会話ができるような時期が、早く来て欲しいと考えている昨今でございます。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、保護司会、中尾委員お願いいたします。

(中尾委員)

保護司の中尾でございます。この7月に社会を明るくする運動が始まります。小学校は4年生以上、中学生は全校生徒に、夏休み中の社会を明るくする運動の作文をお願いする予定でいます。また、毎年中学校の校門の前で、更生保護女性会の皆さん、市長、教育長と一緒に生徒にパンフレットを配布していましたが、コロナの影響で昨年、今年と中止にいたしました。来年は実施する予定でいます。また昨年は、作文で、岩根中学校の生徒さんが千葉県知事賞をいただきましたので、今年も頑張って賞を狙っていきたいと思っています。この社会を明るくする運動は、全国規模での運動です。菅総理大臣より、書状も届いております。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、健康こども部子育て支援課の草苺委員、補足や追加等あればお願いします。

(草苺委員)

子育て支援課の草苺です。先ほど説明させていただきましたが、コロナ禍における新たな取り組みとして、子育て支援課ではオンラインを活用した講座や子育て相談、Youtubeを活用しての健康教育の動画配信、例えば沐浴の動画等を作ってきました。初めはオンラインでの講座や動画配信に、どれだけニーズがあるのかが不安でしたが、感染の不安がなかったり、直接会場に行って講義を聞くという移動手段が必要ないということ、また、沐浴の動画などは何回も視聴ができたりするので、そういった点で多くの方にニーズやメリットがあることがわかりました。

一方で、お子さんを持つ親たちは、困ったことや心配なことがあるとネットで検索します。そうしますと、いろんな情報が入ってきますから、何が正しいかがわからなくて悩んでしまうようです。また子供に関しても、小さな頃からスマホを与えたりする必要がどうしてもあり、取り上げると泣き叫ぶようなことも見られます。お子さんが本来五感を使って色々なことを獲得していく必要がある中、果たして現環境で獲得できているのか、また、お母さんとの愛着の問題を、どうやって子育て支援課として、正しい情報を伝えながら、子供たちを育てていったり支援していくのかが課題だと考えています。

また、妊娠届で、妊婦さん全員の面接をしているのですが、やはりコロナの影響というのが大きくて、十分な支援が得られていなかったり、経済的な不安が大きいというような方も多く見られています。ですので、頻回での寄り添いながらの支援の必要性というもの、日々感じているところです。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、こども保育課、石渡委員お願いいたします。

(石渡委員)

学童クラブにつきましては、先ほどお話をさせていただきました通り、昼間に保護者の方がない児童に、遊びの場や居場所づくりというところが目的になりますので、基本的に、コロナウイルス感染症が拡大する中におきましても、原則、日曜日を除く、毎日開所という形で運営をしていただいているところでございます。ですので、コロナウイルスのまん延防止という観点におきましては、各クラブにおきまして、検温や消毒の徹底、マスクの着用或いは定期的な換気などを行っていただきながら、感染症防止に努めていただいているところでございます。

課題といたしましては、保育の質の向上が必要になってくるという中で、木更津市においては、放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準がございまして、この中の、「児童の健全な育成を図る」という目的を達成するための必要な基準に基づいて運営をしていただきながら、一定の質を保つということを行っていただいております。それと共に市の方では、支援に関するものとして、毎年千葉県が実施しております、各種研修について、各施設への案内や取りまとめを行いながら、研修が必要な職員の方が参加できる機会の確保に努め、保育の質の向上に取り組んでいるところでございます。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございます。続いて、千葉家庭裁判所木更津支部、駒形委員よろしくお願ひします。

(駒形委員)

千葉家庭裁判所木更津支部の駒形です。よろしくお願ひいたします。家庭裁判所では青少年に関わる事務としましては、少年審判手続きを行っております。昨年度もご案内申し上げましたが、少年審判手続きと申しますのは、犯罪を犯して、警察や検察庁から送られてきた14歳以上20歳未満の男子女子、これらを我々は犯罪少年と呼んでいますが、その犯罪少年に対して処分を決める手続きのことをいいます。家庭裁判所では、裁判官が処分を決める前に我々調査官が少年や保護者とお会いしまして、非行の背景や非行の事実の確認等を行っております。そして調査結果を踏まえまして、少年が二度と非行を起こさないために必要な教育的な処分を決めるという流れになっております。

コロナ禍における少年審判手続きとしましては、調査官との面接日時を書いて送る通知書の中に、「少年または保護者に発熱等の体調不良が見られる場合には、日程の変更を検討するので、事前に連絡するように」と明記しております。裁判所からの通知なので、何が何でも絶対に行かなければならないということではなく、そのあたりは臨機応変に対処しております。裁判所に来ていただいた場合の面接調査でも、他の機関の皆様もなさっていると思うのですが、マスクの着用はもちろんのこと、面接室の机の上に透明の仕切りを設けたり、調査終了後の換気、机や椅子の消毒等を徹底しております。交通事件の集団処理では、密の状態にならないように、1回にお呼びする少年と保護者の人数を、最大3組に制限し引き続き行っております。また、今申し上げたのは、家から調査に通ってもらう場合で、中には身柄を拘束されて家庭裁判所に来る少年や非行の背景を探るために、千葉市内にある千葉少年鑑別所に入ってもらう少年もいるのですが、こういった場合には、少年の体調面について、警察や少年鑑別所職員等へ情報共有しまして、感染拡大防止に努めているところであります。今のところ、木更津支部では、少年や保護者が新型コロナウイルスに感染したことで、当初の予定から、少年審判手続きを変更したという事例はありません。以上になります。

(渡辺会長)

ありがとうございます。続いて、青少年育成木更津市民会議、尾崎委員お願ひいたします。

(尾崎委員)

青少年育成市民会議の会長をしております尾崎と申します。市民会議は、市内に12中学校があるわけですが、その中学校を中心に青少年育成住民会議がございまして、それぞれの地域に合った活動をして参りました。その中でも、住民会議や生き生き子供促進事業、最近は、

まちづくり協議会といった団体と一緒に活動をして参りました。残念ながら、昨年は市長からの挨拶でもございましたように、コロナ禍で、今まで10数年続いてきた事業についても、やむなく中止することになりました。特に公民館から通う通学合宿ですか、数地区で10数年も続けている事業でございます。子供たちも、学年を跨いで皆で宿泊しながら、学校まで通えるということで非常に楽しみにしていた事業でしたが、残念ながら昨年はコロナの影響で全て中止となりました。また、各地域で取り組んでいるもの、例えば岩根地区だと、ナイトウォーク等素晴らしい行事が続いていたわけですが、残念ながら中止となっています。ちなみに、私が所属しているのは、太田地区です。今年も、通学合宿につきましては、残念ながら中止ということで、それに代わるものということで、スマイルフラワーと題しまして、日頃通学時に、子供たちがお世話になっているスクールガードの方々、または、主治医の方、公民館、交番、そういったところに、子供たちが植木鉢にそれぞれ花を植えて、ありがとうというメッセージを書き、その方たちのところへ届け、非常に好評でした。できる限り子供たちと接することができるよう、どのように活動を行えばいいかということで、我々も努力して参りました。

また、毎年実施しています危険箇所パトロールというものがあります。先日も八街市で非常に悲しい交通事故が起きてしまったわけですが、子供たちの通学路に危険の場所はないか、また、子供たちが日頃集まって遊ぶところに危険な箇所がないかを地域住民がみんなで見つめ、確認しようという運動でございます。数年間行ってきていまして、コロナ禍であっても、これだけは実施しようということで、来月に実施を予定しております。パトロールを行う上で、今年素晴らしいことは、この清見台・太田地区に、まちづくり協議会を立ち上げることができました。その中で、今まで住民会議の方で実施していたものを、まちづくり協議会が一つになり、いくつかのブロックに分かれて、そういった運動を展開できるということです。先ほども申しましたけれども、とにかく子どもたちの危険を防止しながら、子供たちのために何ができるかという前向きな姿勢でこれからも取り組んでいこうということで一致しております。私の方からは以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、区長会連合会、齊藤富士男委員お願いいたします。

(齊藤富委員)

区長会連合会の齊藤でございます。区長会連合会自体では、青少年と直接関わりのある事業はしておりませんので、出身の岩根西地区の様子を申し上げたいと思います。先ほど尾崎委員からも出ましたけれども、まちづくり協議会の方で、例年やっておりましたラジオ体操、或いは、やっさいもっさいへの参加や夏のキャンプ等については、昨年も今年も中止となっております。その中でやれることをやろうということで、例年とは変わったことを計画していたようですが、今年は断念して、来年からの実施へ向けて企画しているとのことです。また、住民会議の方でも、通学合宿、或いは地域清掃もやっておりましたけれども、それも中止となっております。田舎の方ですと、通学路によっては草が、小さい子供が隠れてしまうぐらいの草丈になる場所もありますので、そういうところについては地域で草刈をして、子供たちが安全に通学できるよう考えて実施しております。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、青少年補導員連絡協議会、齋藤和利委員お願いいたします。

(齋藤和委員)

青少年補導員連絡協議会、齋藤でございます。コロナ禍ということでなかなか活動ができないというのが現実でございます。そんな中、先日JR乗車マナー講座を実施し、まなび支援センター内海所長をはじめ、多くの方に参加していただきました。久留里線の乗車マナーを実施させていただき、例年ですと、やんちゃな子供たちも多かったのですが、今年は非常におとなしく、騒ぐ子もいなくお菓子を食べたりしている子もいなかったということで非常に良い状況でございました。

また、先だって本会議の総会等も行っていただきましたけれども、講演会等ができない中、内海所長のお計らいで、インターネットを使用しまして、各自が自宅からYoutubeでもって研修を行うという形を取らせていただきました。我々補導員は、今言ったようにコロナ禍ということでなかなかパトロール等を実施できない状況でございますが、各地区の自主性でもって、パトロール等は実施するしないを判断させていただいております。普段の生活の中でできるだけ子供目線に立って、見守り活動、愛の一声をかけるという行動を行っております。

今後とも、子供たちの目線に立って、補導ではなく指導的な立場でもって、子供たちを見守っていきたいと思います。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、子ども会育成連絡協議会、尾坂委員お願いいたします。

(尾坂委員)

子ども会育成連絡協議会の尾坂と申します。いつもお世話になっております。今年はコロナ禍ということで、総会は書面決議とさせていただきましたが、通常の役員会、或いは常任理事会につきましては行って参りました。地域の子供は地域が育てるを基本理念として、毎年行って参りましたが、少子高齢化、核家族化が進む中、また、地域の繋がり希薄化や都市化の進行によりまして、自治会に入らない、或いは子ども会に入らない状況があらうかと思っております。そのような中、地域の異年齢の集団の基盤とする子ども会が成立できなく、だんだん衰退している、その歯止めがきかなくなっている状況にあります。特にここ数年大きな課題となっております。

子ども会一つ一つの対策といたしまして、規約の一部を改正しまして、部制の見直しを行い、広報・PRの強化ということで、文化部を広報部に変えまして、強化したいと考えています。それから、活動がマンネリ化しているのではないかとということで、企画事業部を立ち上げまして、行事の企画やジュニアリーダーの育成等、強化していきたいと考えております。あわせて、子供たちの集まりが今までなかったのも、子供たちを集めて子供たちの悩みや子ども会の悩み事等を吸い上げまして、方向性を定めていきたいとも考えております。特に社会を生き抜く力として基礎的な能力を養う効果があるのではないかと考え、今年度の計画に体験活動の場や機会を多く盛り込み、取り組んでいるところでございます。ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

(渡辺会長)

ありがとうございました。続いて、社会福祉協議会、鈴木清委員お願いいたします。

(鈴木委員)

木更津市社会福祉協議会の鈴木です。木更津市の社会福祉協議会は、平成31年4月より、木更津市より学習支援事業を委託しまして、本年度も市内の3ヶ所で展開しております。週1回程度、公民館で1時間半ほど、年40回ぐらいを予定して実施しております。講師として大学生や地域のボランティアと中学生が中心となって、学びの場や居場所づくりを目的に展開しております。

コロナ禍における新しい取り組みとしましては、公民館等が利用できない際に、オンラインによる開催を試みました。その結果少数ではありますが、継続的な参加もありまして、家庭における学習機会の定着に一定の効果があったと思っております。また、高齢者や直接会場に会場できないボランティアの方も自宅や勤務先からのオンライン参加によりまして、事業への協力者が増加し、移動自粛要請等によるボランティア減少の補填をすることができました。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございました。最後に更生保護女性会、石邑委員お願いいたします。

(石邑委員)

この4月より、会長になりました石邑と申します。よろしくお願いいたします。更生保護女

性会は会員が84名おります。そして市内の中で11班に分かれておりまして、そのほかに専門部が5つあります。皆さん年齢が少々高いですが、やる気十分でおりますので、更生保護女性部の方に、こういう活動を取り入れてもらいたい等、ご希望やご意見がありましたらお声をかけていただきたいと思います。

保護司の中尾委員よりお話がありましたように、この7月1日に、社会を明るくする運動ということで、作文の依頼に、保護司さんに同行いたしまして、各小中学校を訪問したいと思っております。児童生徒の活動に、少しでも手を差し伸べてあげられたらなと思っております。

昨年は、市内小学校18校に、絵本の読み聞かせのお手伝いをさせていただきました。すごく子供たちが喜んでくださりまして、たくさんの感想文をいただきました。本は「コウくと黄色い羽根」という日本更生保護協会で作った絵本です。昨年何もできなかったものから、この絵本を作りまして、全国一斉に取り組みました。そして、木更津市内でも各小学校が気持ちよく受け入れてくださり、子どもは学校に入れませんでした。代わりに先生方が読み聞かせをしてくださいました。その内容は、千葉県の更女だよりも報告させていただいております。この経験を通しまして、やはり絵本を読み聞かせしてあげることは非常に良いことだと感じました。

私たち更生保護女性会は、資金造成部という専門部があります。この部署は、少しでも活動の予算を増やしたいということで、この近辺の商店の協力をいただき品物を販売し、それを色々な方へ買っていただき、資金を各地で少しでも集めようということで行っております。その集めた資金はどうするのかといいますと、一つは本を買って、各施設に置いてあげて、読み聞かせをしてあげたいなと思っております。もう一つは、私たちの事務局は、千葉保護観察所になります。その観察所を通して、刑務所から、刑を終えて出てきてこれから社会に出る人たちに、洗剤や歯ブラシなどの日常品を暖みのある袋に入れまして送る事業に使用しております。今年度も、わずかな資金ですが、そのような使い道、使い方にしていきたいなと思っております。また、社会に出る前に、着る洋服がないということで、男性のスーツ・シャツなどの洋服を、声をかけて集めて送っております。

いずれにしても、また、いろいろな活動ができるようになったら、子どもへの読み聞かせを活動における一つの柱として、他の活動と共に行っていきたいなと思っております。これからも更生保護女性会をよろしく願いいたします。以上です。

(渡辺会長)

ありがとうございます。

それでは、ここで意見交換の場にさせていただきたいと思っております。ただいま各団体機関よりご報告いただいたことに関しまして、ご質問・ご意見がございましたら、また、日頃より皆様を感じていらっしゃることで構いませんのでご自由にご発言いただければと思います。いかがでしょうか。

(豊田委員)

ご質問ではなく意見としてですが、先般の総合教育会議の中で、次世代を担うボランティアであったり、青少年のリーダーなどの、なり手が不足しているというお話があったかと思うのですが、この会議には各種団体で活躍されている方が出てこられておりますので、こういう場で、お力やご意見を伺ったりするのも良いのではと思っております。

(渡辺会長)

ありがとうございます。

ご意見いただきましたので、よろしく願いいたします。

(石井委員)

皆様方の活動について、大部分がコロナ禍ということで活動が行えていないというお話でしたが、木更津東高等学校は、これから活動を積極的に行っていきたいというようなお話がありました。ワクチンの接種は、これから進んでいくと思うので、例えば、来年度になりますと、大分コロナへの心配というのは少なくなってくるのではないかと思います。来年度に

なったら、活動や事業をこのようなことから始めていきたいか、お考えを持っていらっしゃる方がいらっしゃいましたら教えていただければと思います。

(渡辺会長)

ありがとうございます。

来年に向けて、特に考えていることがございましたらということでございます。いかがでしょうか。

青少年に限らないことで言いますと来年市制80周年を迎えます。特にまだ計画は立てていない状況なのですけれども、何かございましたら、また、お話いただければと思います。

(石井委員)

先ほど草薙委員の方から、子育てのことで、オンラインでの活動・事業が増え、余計に人と接することが少なくなり、子育て世代の方が不安になってしまうようなお話を伺いましたが、活動を元の形に戻せるのかが気になるところです。いかがでしょうか。

(草薙委員)

おっしゃる通りです。活動は元の形に戻したいと思っています。本心としては、人数制限などの対策をとり、お子さん同士を遊ばせてあげたり、お母さん同士を触れ合わせてあげたいと思っています。

対応としては、このような状況下ですが、オンラインでの講座等以外に、赤ちゃん広場という事業を行っていきまして、生後1ヶ月から、3ヶ月ぐらいまでの赤ちゃんが、お母さんと一緒に触れ合い、集まれる場を設定し、木更津市民総合福祉会館のこどもの森で行っています。そこに来ると、お母さん達はやっぱりほっとしています。おそらく皆さんも感じていると思うのですが、赤ちゃんを連れている方を地域によってはほとんど見ないかと思えます。したがって同じぐらいの大きさの赤ちゃんを育てているお母さんたちと繋がりたいという方は多く、そういった方が参加されています。子育て支援センターも、自由に遊べる空間はありますが、やはり人数制限があり、予約を開始すると、すぐに満員となっているので、コロナが収まり次第、そういったところから、対応していきたいと考えています。

(尾崎委員)

青少年育成木更津市民会議の尾崎です。

先ほど会長から青少年に限ったことでなくでも結構ですよというお話をいただきましたので発言させていただきます。

今年、清見台太田地区のまちづくり協議会を立ち上げまして、私自身も会長として、これから運営していくわけですが、その上で一番ネックになっているのが、やはり町内会です。町内会が母体となり連絡等の窓口になってくださっているのですが、清見台太田地区は、新興住宅地ということで、40数年前に作り上げられた町です。それが今、高齢化が進み、場所によっては、団地を取り壊し一戸建ての住宅が増えてきています。その点は非常に頼もしいことですが、場所によっては、非常に高齢化が進んでいるということで、町内会の運営が非常に厳しくなってきています。先ほども委員の方がおっしゃっていましたが、子ども会もなくなり、また、町内会の会長、役員をやってくださる方もいらっしゃらないというような状況です。本日は区長会連合会の副会長もお見えになっていますが、今後、町内会をどのようにして持続させていくべきかが非常に課題になってきていると思います。先日、市民活動支援課に行きまして、木更津市の町内会が今どのような状況にあるのかを、区長会連合会を中心にアンケートをとっていただきたい旨、お話をさせていただきました。ぜひ、皆さんからも英知をいただきたいと思っております。以上です。

(渡辺会長)

はい。ありがとうございます。

おっしゃる通り、町内会については大変大きなテーマでございます。各町内会や子ども会から老人会まで、様々な団体にも影響することでありますので、違う形にはなるかもしれま

せんけれども、持続的なものとして作り上げていかなければならないと思っております。ぜひ、色々なご意見をいただければと思っております。

(齋藤委員)

区長会連合会でも悩みは同様でございます、色々なお話を聞くと、細かい数字は出ていないのですけれども自治会の加入率が50%を上回っている場所というのは、あまり多くありません。それと、まちづくりをしていく上で、色々な役を担う人たちのほとんどが、町内会・自治会の役員になっています。一方で、自治会に入っていないような方で、まちづくりに参加してくれる人というのは、ごく稀だと感じています。

私の考えとしては、子供のスポーツ活動等に関わりのある人たちに色々な役をお願いすることが、一番地域を繋げる上で良い気がします。各地域には、サッカーや野球等のクラブがあると思いますので、それらに参加している方達をお願いしていくのがいいのではないかと思います。一般家庭に、ただお願いに行っても、ほとんどが参加できない理由を一生懸命探されちゃうような実態があり、特定の方に役が偏っているような形で、まちづくりが成り立っている状況です。まちづくりは、自治会だけがするものではないはずなのですが、実態としては、避難訓練にしても何にしても、そのような形態になってしまっているのが現状です。以上です。

(渡辺会長)

去年の市民アンケートの中で、市民活動と郷土愛の関係性を調べたところ、当然と言えば当然なのかもしれないのですが、ボランティアやまちづくりに関わっていない方は、あまり郷土愛を持っていないという数字ができました。これは、子供も一緒だと思いますし、色々な地域のことに関わることによって、将来的にその地域を、どう思うかということに繋がっていくと思います。私も子供のころに子ども会に参加していましたが、やはり子ども会の思い出というのは、いつまでも残っていて、その頃にお会いしたおばちゃんの顔はまだ覚えていますが、とても貴重な活動だったと思っております。色々な方々が、子供たちの周りにいるということは大切であると思えます。

(石井委員)

まちづくり協議会、区長会、自治会のお話を聞いての話なのですが、鎌足地区でもまちづくり協議会がありまして、いろんな部会があり、活動の主体となると、やはり60代70代の方や、若いところというところだと40代の奥さん方等が多いです。会議等を行いますと、40代や、他の地域から来た方の意見というのは積極的な意見が多く、その中の一つを実践するので地域の活性化に繋がっているような気がします。

鎌足地区でも、かまフェスという地域交流のイベントがありまして、去年は実施できませんでしたが、一昨年に実施した際は来場者がおおよそ5000人と年々人が増えているような大きいイベントでしたので、今年は何とか縮小してでも実施したいと思っております。このイベントも女性方の、そういう強いパワーがあって実施できている部分がありますので、例えば、まちづくり協議会にしても、若い人が参加しなくては、参加したいと思えるような方向性で、工夫して行うことができれば、次のステップにいけるのではないかと、私の地域の状況を見て思いました。

また、鎌足地区は農村地区ですが、先ほども言いました通り、段々と農業をやめてしまい田んぼを耕作しなくなってきました。その点は残念ですが、一方で、しばらくいなかったホテルがまた随分来るようになり、公民館、まちづくり協議会でホテル観賞会を企画したところ、約50人参加者が集まりました。言い方が難しいですが、見捨てられたところに、蛍が戻ってきて、それがまたプラスの部分に繋がってきたりすることもありますので、色々な要素を取り入れたり、工夫が必要になってくると思いました。

(渡辺会長)

ありがとうございます。他にございませんでしょうか。他になければ、終了とさせていただきます。最後にその他何か、事務局からございますか。ないということでございます。

それでは、今後さらに、皆様と行政が情報共有を図りながら、青少年健全育成に取り組んで参りたいと思いますので、引き続きのご指導いただきますよう、お願いをさせていただきますながら、終了とさせていただきます。司会を事務局へお返しいたします。ご協力ありがとうございました。

(事務局)

長時間にわたり貴重なご意見をありがとうございました。

以上をもちまして、本日の協議会のすべての日程を終了いたします。なお次回の開催は12月ごろを予定しております。日程が決まり次第お知らせいたしますので、よろしくお願いたします。

本日はありがとうございました。